

氏 名	石 川 慎 一
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第 3725 号
学位授与の日付	平成 20 年 9 月 30 日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科生体制御科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)
学位論文題目	Epidural Blood Patch Therapy for Chronic Whiplash-Associated Disorder (慢性むち打ち関連障害に対する硬膜外自家血注入治療)
論文審査委員	教授 尾崎 敏文 教授 伊達 勲 准教授 近藤 英作

#### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

慢性むち打ち関連障害（慢性 WAD）では頭痛、耳鳴り、めまい等を訴え、脳脊髄液漏出の症状に類似している。ラジオアイソトープ（RI）脳槽造影検査は脳脊髄液漏出に対する有用な検査であり、この検査を用いて慢性 WAD と脳脊髄液漏出との関係を明らかにし、慢性 WAD に硬膜外自家血注入（EBP）治療が有効かどうか検討した。明確な外傷との関連を有する慢性 WAD 患者 66 症例が対象である。RI 脳槽造影検査を施行して脳脊髄液漏出の存在を調査した。脳脊髄液漏出を有した患者では EBP 治療を予定した。症状および就業状態を治療前後で評価し比較検討した。37 症例で脳脊髄液漏出を示した。うち 36 症例が平均 2.2 回の EBP 治療を受けた。EBP1 週間後に頭痛は 100% から 17% に、記憶障害は 94% から 28% に、めまいは 83% から 47% にそれぞれ減少した。6 ヶ月後の経過観察時に症状と就業状態は改善していた。慢性 WAD には脳脊髄液漏出を合併する症例が含まれることを証明した。また EBP は脳脊髄液漏出を伴う慢性 WAD に有効な治療と考えられた。

#### 論 文 審 査 結 果 の 要 旨

慢性むち打ち関連障害（慢性 WAD）では、頭痛、耳鳴り、めまい等を訴え、脳脊髄液漏出の症状に類似している。本研究ではラジオアイソトープ（RI）脳槽造影検査を用いて慢性 WAD と脳脊髄液漏出との関係を明らかにし、慢性 WAD に硬膜外自家血注入（EBP）治療が有効かどうか検討した。

明確な外傷との関連を有する慢性 WAD 患者 66 症例を対象として RI 脳槽造影検査を施行したところ、37 症例で脳脊髄液漏出を示した。うち 36 症例が平均 2.2 回の EBP 治療を受けた。症状および就業状態を治療前後で評価・比較検討したところ、EBP の 1 週間後に頭痛は 100% から 17% に、記憶障害は 94% から 28% に、めまいは 83% から 47% にそれぞれ減少した。6 ヶ月後の経過観察時に症状と就業状態は改善していた。本研究により慢性 WAD には脳脊髄液漏出を合併する症例が含まれていることを証明した。さらに EBP は脳脊髄液漏出を伴う慢性 WAD に有効な治療と考えられた。これは重要な知見を得たものとして価値のある業績と認める。よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。